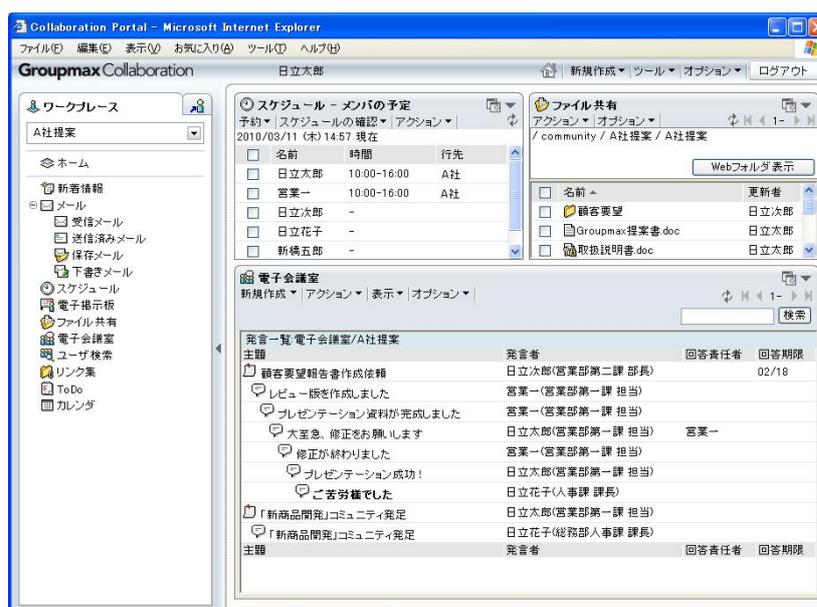


「情報共有基盤サービス -コラボレーション機能-」をSaaSにて提供開始  
コラボレーションポータル製品「Groupmax Collaboration」をベースに  
日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」のラインアップとして提供



「情報共有基盤サービス -コラボレーション機能-」の画面例

株式会社日立製作所(執行役会長兼執行役社長:川村 隆/以下、日立)は、このたび、企業内のコミュニケーション活性化による業務効率向上や、インフラ運用コストの最適化を求めるニーズに対応し、自社開発製品であり日立グループ内のコミュニケーション基盤でもある「Groupmax Collaboration」をベースとしたサービス「情報共有基盤サービス -コラボレーション機能-」を4月1日から日立の最新鋭データセンタを通じて、SaaSにて提供開始します。

本サービスは、従来ユーザー企業内にシステム構築をするシステムインテグレーションの形で提供していた「Groupmax Collaboration」のポータル画面、コミュニティ管理、メール、スケジュール管理、ファイル共有、電子会議室、電子掲示板など、企業内の組織横断的なコミュニケーションや情報共有を支援する機能を日立のクラウドソリューション「Harmonious Cloud」のラインアップとしてSaaSにて提供し、効率的でセキュアなコミュニケーションの実現とともに、企業の情報インフラ運用コストの最適化を支援します。

近年、企業の情報システムにおいては、電子メールをはじめとしたグループウェアなど、基幹業務以外の共用的業務にSaaSを利用してインフラ運用コストを低減するニーズが高まっています。日立は従来、社内コミュニケーション活性化による業務効率向上とインフラ運用コストの低減を目的に「Groupmax Collaboration」を日立グループ内20万人規模で運用してきており、今回、これまで培

ってきたコミュニケーションノウハウを反映し「情報共有基盤サービス -コラボレーション機能-」を提供します。今回提供するサービスは4つあり、基本となる「情報共有基盤コラボレーションサービス」と、ユーザーのニーズにより付け加えることができる「情報共有基盤携帯電話連携サービス」「情報共有基盤メールセキュリティサービス」「情報共有基盤メールアーカイブサービス」です。日立は今後も日立グループ内で培ったノウハウや実績をもとに各種のSaaSラインアップを拡充していきます。

## 本サービスの概要

本サービスでは、企業内の組織横断的な情報共有や業務ノウハウの活用を、単なる企業内コミュニケーションを超え、企業のビジネス価値を向上する「知」を創出する情報コラボレーションと位置づけ、コラボレーションを総合的に支援する各種機能を日立の最新鋭データセンタを通じてSaaSにて提供します。

### 1.「情報共有基盤コラボレーションサービス」によるトータルなコラボレーション環境を提供

メール、スケジュール、ファイル共有、電子会議室、電子掲示板などの各種コミュニケーション機能について、これらを柔軟に利用できるポータル画面とセキュアで効率的なコミュニケーションを実現するコミュニティ管理機能により、トータルなコラボレーション環境を利用できます。

また、携帯電話からのアクセスを可能にする「情報共有基盤携帯電話連携サービス」、ウイルススキャンやフィルタリングなどを行う「情報共有基盤メールセキュリティサービス」、メールを蓄積・管理する「情報共有基盤メールアーカイブサービス」をユーザーのニーズに合わせて組み合わせることで、より使い勝手の良いコラボレーション環境を利用できます。

### 2.堅牢性の高い日立の最新鋭データセンタを活用した安全なサービスを提供

本サービスを提供するデータセンタは、強固な地盤への直接基礎工法と免震装置を併用した堅牢性の高い構造物で、指静脈認証やICカードによる入退管理システムなどのハイレベルなセキュリティ環境を実現しています。また、プライバシーマーク、ISMS<sup>(\*)</sup>に準拠した運用でセキュリティ・信頼性を確保し、ユーザーは安全にサービスを利用できます。

\*1 ISMS(Information Security Management System):

情報セキュリティ管理システム。情報に関わるセキュリティを管理するための仕組みで、構築方法や認定基準は、国際規格や日本工業規格にもなっている。

### 3.高信頼で安定したサービスを提供

本サービスを提供するハードウェア、ソフトウェア、ファシリティにいたるまで、高信頼な日立製品で構成しています。これにより、安定したサービスを提供するほか、万一の障害発生時でもワンストップで迅速な問題解決が可能です。

### 「情報共有基盤サービス - コラボレーション機能 -」の価格・提供時期

名称	内容	価格	提供時期
情報共有基盤 コラボレーションサービス	ポータル、コミュニティ管理、メール、スケジュール、電子会議室、ファイル共有、電子掲示板の機能。	月額 788 円 ~ (*2) (税抜:月額 750 円 ~)	4月1日
情報共有基盤 携帯電話連携サービス	携帯電話からのメール/スケジュールの参照・更新機能。	個別見積	
情報共有基盤 メールセキュリティサービス	流量制御、スパムフィルタ・検疫、ウイルススキャン、メールフィルタ機能。		
情報共有基盤 メールアーカイブサービス	送受信メールのアーカイブ、および管理者による検索・転送機能。		

\*2:5,000ユーザー規模の場合での1ユーザーライセンスあたりの価格

#### 販売目標

順次機能を拡張し、2015年度までに50万ユーザーライセンスの売上をめざします。

#### 「情報共有基盤サービス - コラボレーション機能 -」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/os/>

#### 「Groupmax Collaboration」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/groupmax/>

#### 日立のクラウドソリューション「Harmonious Cloud」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

#### 展示会への出展予定について

「情報共有基盤サービス - コラボレーション機能-」は、2010年5月12日(水)～14日(金)に東京ビックサイトで開催される「第1回 クラウドコンピューティング EXPO」の日立ブースに出展する予定です。(http://www.cloud-japan.jp/)

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アウトソーシング事業部  
IT基盤サービス部[担当:井上]  
お問い合わせフォーム:<http://www.hitachi.co.jp/os-inq/>

以上

< 補足資料 >  
コラボレーション機能

### 1.柔軟・自在なコラボレーション環境を提供するポータル画面

切り替え可能な目的別作業環境であるワークスペースをはじめ、メール、電子会議室、ファイル共有、スケジューラーなどのサービスで提供する各種機能を一画面内に集約して表示するため、エンドユーザーがその日にやるべき仕事の内容が一目で把握できます。

また、使用する画面を各ワークスペースごとに選択可能で、ポータル画面上でユーザーの好みに合わせて表示位置に配置でき、柔軟に作業環境のカスタマイズが可能です。例えば、社内の各種委員会や期間限定のプロジェクトごとにワークスペースを用意しているため、業務の内容にあわせてワークスペースに表示する画面を選択し、任意に配置できます。

### 2.セキュアなコラボレーションを実現するコミュニティ管理とファイル共有

ワークスペースごとに情報共有の範囲となる利用者をコミュニティとして設定・管理可能なほか、コミュニティ内のユーザーごとに、電子会議室での閲覧や発言の可否、ファイル共有での参照・更新・削除などの各種権限を細かく設定でき、目的や用途に応じたセキュアな情報共有が可能です。

また、ファイル共有では、各種ドキュメントなどを各ワークスペース内で階層的に保持し、保持したファイルをメールで送信する際、ファイルの実体をメールに直接添付せず、ファイルの所在を示すURLを指定して送信します。受信側ではそのURLからファイルを参照するため、万一社内外へメールを誤送信した場合でも、参照権限がないユーザーは添付ファイル内容を参照できないため、情報漏えい防止に大きな効果を発揮します。また、添付ファイル格納用のディスク容量も抑えられ、運用コスト削減にも寄与します。

### 3.効率的かつ確実なコラボレーションを支援するスケジュール管理機能と電子会議室

スケジュール管理機能では、コミュニティ内のメンバーで会議を実施する場合、各メンバー間の予定および会議室などの施設の共通の空き時間を表示するため、複数のメンバーと施設の同時予約が可能です。また、電子会議室では、議論の状態、回答期限、回答責任者をステータス表示できるため、会議進行時に陥りやすい議論の停滞や沈み込み、懸案の解決担当者がいまいになることを防止し、これらの特長で効率的かつ確実なコラボレーションを支援します。

なお、このほか、携帯電話連携機能、スパムメールの抑止・ウイルススキャンなどで安全なメール利用を支援するメールセキュリティ機能、一定期間送受信メールの保存を行うメールアーカイブ機能などもオプションとして備えており、利用シーンを選ばない安全安心なコラボレーションを支援します。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---